



大分市教育委員会文化財課・
東京大学大学院情報学環 主催

BUNGO FUNAIワークショップ WITH FUNAIジュニアガイド Workshop & Learning flow

Designed by ;
Toshio Kage, Masao Oi, Takuya Tokuhara.

Produced by ;
Mihoko Oka, Hidenori Watanave.

Special Thanks ;
Tsubone Shinya.



<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/deed.ja>

東京大学共同研究「豊後府内ワークショップ」
ミニレクチャー（2022.3.26）

「16世紀の府内に生きた人々は、
どのような活動をしていた？」

鹿毛 敏夫
（名古屋学院大学 国際文化学部）

[1]

まずは、

当時の日本全体の状況を見てみよう。

■ 16 世紀に對外交渉を試みた戦国大名と豪商

人 名	對外交渉の具体的内容
かきざきすえひろ 蠣崎季広 (1507 ~ 95)	北海道松前の戦国大名。1550 年、対立する西部アイヌの首長ハシタイン、東部アイヌの首長チコモタインと交易協約を結ぶ。
あきよし 安東舜季 (1514 ~ 53)	出羽の戦国大名。1550 年、長年にわたるアイヌと蠣崎氏の紛争を調停。
よしかげ 朝倉義景 (1533 ~ 73)	越前の戦国大名。1567 年ごろ、琉球への渡航船派遣について島津義久に協力を依頼。
もとなり 毛利元就 (1497 ~ 1571)	安芸の戦国大名。のち、中国地方全域に勢力を拡大。1562 年 6 月に石見銀山を掌握、翌月に使節を対馬宗氏のもとに派遣して、朝鮮通交の斡旋を依頼。
毛利輝元 (1553 ~ 1625)	元就の孫。のち、豊臣政権の五大老となる。赤間関代官高須氏は、1584 年に来航した中国泉州の商船と交易、翌年の再取引を約束。
一条房冬 (1498 ~ 1541)	公家、土佐の戦国大名。1538 年、本願寺証如や堺商人と結んで「唐船」を建造。
よしおき 大内義興 (1477 ~ 1529)	周防の守護大名。1508 年、前將軍足利義植を奉じて上洛、幕政に関与。1511 年の遣明船を派遣し、正徳勘合を獲得。
大内義隆 (1507 ~ 51)	義興の子。周防、長門、豊前、筑前、石見、安芸、備後の守護職を兼ねた西国最大の戦国大名。1538 年と 1547 年の遣明船を独占的に派遣。
大内義長 (1532 ? ~ 57)	大友義鎮の弟。陶晴賢に迎えられ 1552 年に大内家家督を継承。1557 年、明使蔣洲の倭寇禁制宣諭に応じて被虜中国人を本国に送還、日本国王印を用いて朝貢する。さらに同年、熙春龍喜を正使として明に派遣。
よしあき 大友義鑑 (1502 ~ 50)	豊後の戦国大名。1544 年、寿光を正使とした遣明船を派遣。入貢拒絶を受け、六横島の双嶼で密貿易。
よししげ 大友義鎮 (宗麟) (1530 ~ 87)	義鑑の子。豊後、豊前、筑後、筑前、肥後、肥前の守護職を兼ねた九州最大の戦国大名。 ① 1551 年、府内を訪問したザビエルと会見（第一学習社『ダイアログ世界史図表』p. 154）。その後、ザビエルのインド渡航にあわせ、ポルトガルのインド総督あての書簡と贈答品を携えた使者（洗礼名ロウレンソ・ペレイラ）をインドのゴアに派遣。 ② 1556 年、明使鄭舜功の帰国にあわせ、清授を正使として寧波に派遣。清授はその後、四川省茂州の治平寺に移る。 ③ 1557 年、明使蔣洲の倭寇禁制宣諭に応じ、徳陽を正使として派遣。徳陽は舟山島の定海に滞在。さらに同年 10 月、倭寇の頭目王直に同行するかたちで善妙を正使とした巨大遣明船を派遣。船は舟山島の岑港に入るが、明官軍からの攻撃を受けて港内に沈む。使節一行は島内陸部に逃れて新船を建造、翌 1558 年 11 月に島を発ち、福建省の浯嶼に移る。 ④ 1573 年、「南蛮国」カンボジアへ貿易船を派遣。取引ののち、鹿皮、銀、カンボジア国王からの進物と中国商人林存選を乗せて九州南方まで戻るが、大風で避難入港した阿久根で破船。 ⑤ 1578 年ごろ、カンボジア国王が大友義鎮に国書と銅銃、蜂蠟、ゾウとゾウ使い、鏡匠を乗せた商船を送るが、豊薩合戦で優位に立った島津義久に抑留される。

さがら よししげ 相良義滋 (1491 ? ~ 1546)	肥後の戦国大名。「国料之商船」を琉球に派遣。1542 年、答礼として琉球王国側が砂糖 150 斤を相良氏に贈答。
相良晴広 (1513 ~ 55)	義滋の養子。1546 年、肥後宮原で銀鉱脈を発見。1554 年、新造した大名船「市木丸」に銀を積んで明に派遣。
島津貴久 (1514 ~ 71)	薩摩の戦国大名。薩摩、大隅、日向の守護職を兼任。1556 年と 59 年に、琉球国王尚元 しょうげん の使節を受け入れ通交する。
島津義久 (1533 ~ 1611)	貴久の子。1578 年の豊薩合戦で大友氏を破る。 ① 1574 年以降、薩摩、大隅、日向の各港から琉球をめざす船に、朱印状を発給。 ② 豊後をめざしていたカンボジア国王使節の船を抑留し、1579 年 11 月、大友氏に代わってカンボジア国王へ書簡と産物を贈答。
まつ ら しげのぶ 松浦鎮信 (1549 ~ 1614)	平戸の戦国大名。1576 年、平戸に来航した使節を饗応してアユタヤ王国との外交関係を樹立。翌年には、アユタヤ国王に書簡 かふと と甲を贈答。
そう 宗義盛 (1476 ~ 1521)	対馬の守護大名。1510 年の三浦の乱で、代々の朝鮮歳遣船權益を大幅に喪失。
よししげ 宗義調 (1532 ~ 88)	1556 年 11 月、明使蔣洲の倭寇禁制宣諭を受ける。翌年朝鮮に遣使して丁巳約条を結び、朝鮮通交の權益を回復。
日比屋助五郎 (16 世紀前半 ~ 半ば)	堺の豪商。大内義隆派遣の 1547 年の遣明 2 号船に乗船し、日明貿易に従事。1560 年代に九州来航の中国船、ポルトガル船と取引した日比屋了珪 りょうけい は同族。
じゅてい 神屋寿禎 (16 世紀前半)	博多の豪商。石見銀山に權益を有し、代官を遣わして米銭で銀鉱石を買い付ける。大内義隆派遣の 1538 年の遣明船総船頭を務めた神屋主計 かすえ は同族。
そうしつ 嶋井宗室 (1539 ? ~ 1615)	博多の豪商。1568 年、商船「永寿丸」で朝鮮に渡海。兀良哈 オラシガイ （中国東北部）からの物資を買い占め博多に戻る。
けんつう 仲屋顕通 (16 世紀前半 ~ 半ば)	豊後府内の豪商。年貢米の運用投資益や升の換算差益、米銭の交換レート益などで富商化し、大友氏と結んだ政商として大名公定分銅を発行、遣明船の派遣や渡来中国人との交易にも関わる。
そうえつ 仲屋宗越 (16 世紀半ば ~ 末)	顕通の子。大友氏に加え豊臣氏とも結んで畿内から九州南部まで商圈を拡大し、顕通以来の秤量權益を拡充。カンボジア交易を手がける中国商人とつながり、大友氏のカンボジア交易にも関与。大友義鎮の新城下臼杵にも広大な屋敷を有する。

16世紀の対外交渉に関わった戦国大名・豪商とその関連都市・町・鉱山



■ 16 世紀日本人の対外交渉関係地

地名〔日本〕	出来事
松前	1457 年のコシャマインの蜂起以降、アイヌと和人の攻防が続くが、1550 年に蠣崎季広とハシタイン・チコモタインの間で協約を締結。
とさ 十三湊	日本海航路を通じて若狭、畿内とつながる、安藤（安東）氏の本拠地のひとつ。
あかまがせき 赤間関	1584 年、中国泉州からの商船が来航し、船主蔡福らが毛利氏の代官高須元兼と交易。
府内	① 1541 年、神宮浦に中国からのジャンク船が来航、明人 280 人が上陸して神宮寺に滞在。 ② 1571 年、府内滞在中の盧高（台州出身）と陽愛有（温州出身）が時宗寺院称名寺に梵鐘を寄進。
うすき 臼杵	16 世紀半ばに大友義鎮が本拠地とする。陳元明らが居住する唐人町が繁栄し、豪商仲屋宗越が広大な屋敷を保有。
ひのうら 外浦	帰国途中の航路で喧嘩が起こった 1506 年出発の遣明 2 号船を、大友義長が外浦で抑留。
平戸	① 1542 年、倭寇の頭目王直が訪れて本拠のひとつとし、松浦氏の保護を受ける。 ② 1575 年、島津家久が平戸碇泊中の「唐舟」に乗船し、南蛮から大友氏への進物の「虎の子四匹」を見学。 ③ 1576 年、郭六官という中国人のジャンク船に乗ってアユタヤ国王使節が来航、松浦氏と外交関係を結ぶ。
八代	① 1538 年、相良義滋が大名船「市木丸」を建造し、琉球へ派遣。 ② 1554 年、相良晴広が新「市木丸」を建造して、明に派遣。
阿久根	1573 年、カンボジア交易を終えて豊後に帰国途中の大友義鎮の貿易船が大風避難で入港するが、港内で破船。
鹿児島	1549 年、アンジロー（鹿児島出身の日本人）の先導でフランシスコ・ザビエルが上陸。
硫黄山 （豊後九重）	遣明船による最大の輸出品である硫黄鉱石の産地として、14 世紀以降に大友氏が直轄。
硫黄山 （豊後塚原）	大友氏直轄の硫黄鉱山。同位体比分析により、堺出土のタイ産壺内残留の硫黄が同地産と判明。
硫黄山 （薩摩硫黄島）	島津氏直轄の硫黄鉱山。14 世紀以降の遣明船のみならず、17 世紀の朱印船にも積んで東南アジアへ輸出された。
银山 （石見大森）	世界有数の銀鉱脈として 16 世紀半ばから 17 世紀前半に最盛。初期は博多豪商神屋寿禎が権益を有し、のち大内氏、毛利氏、豊臣氏、徳川氏らが争奪。
银山 （肥後宮原）	1546 年に相良氏によって発見・開発され、遣明船派遣の原資となる。

地名〔外国〕	出来事
那覇	1574年4月、島津義久が坊津の「宮一丸」(船頭渡辺三郎五郎)の琉球渡海を許可する朱印状を発給。以後、16世紀末にかけて義久による琉球渡海朱印状は11通を確認(根占の「小鷹丸」, 坊津の「権現丸」「天神丸」など)。
乃而浦	1510年4月、三浦(乃而浦・富山浦・塩浦)の倭人が、対馬国守護代宗国親の援軍を得て暴動(三浦の乱)。
双嶼	1544年、寧波入貢を退けられた大友義鑑の遣明船が、六横島の双嶼で密貿易を行う。
定海	① 1539年5月、大内義隆派遣の遣明船が舟山島の定海に入港。水・食料等の支給を受ける。 ② 1557年、大友義鎮派遣の徳陽が定海の道隆親に滞在、倭寇と明官軍の攻防のなか、明側の張四維らと交渉する。
岑港	1557年10月、大友義鎮派遣の巨大遣明船(正使は善妙)が舟山島の岑港に入港するが、明官軍からの攻撃を受けて沈没。
寧波	① 1453年4月、大友親繁派遣の遣明船(6号船)が硫黄9万200斤を載せて寧波に入港。 ② 1523年、正徳勘合を携えた大内義興、弘治勘合を携えた細川高国双方の遣明船が、入貢の先後をめぐって寧波で衝突。大内側は細川船を焼き、放火・略奪は寧波市街におよぶ(寧波の乱)。 ③ 1539年5月、大内義隆の遣明正使湖心碩鼎が寧波の嘉賓堂(接待所)に入る。
北京	1540年3月、大内義隆派遣の遣明使が北京に到着。皇帝拝謁儀礼をこなしながらおよそ70日間の滞在。
杭州	1540年9月、北京入貢の帰路、大内義隆の遣明使が杭州の西湖を見学。
茂州	1559年、大友義鎮派遣の清授が四川省茂州の治平寺に滞在。
浯嶼	1559年、舟山島から移動してきた大友義鎮派遣の遣明使が密貿易を行う。
マラッカ	① 1511年、ポルトガルが東アジア貿易の拠点として占領。 ② 1547年、ザビエルがマラッカの教会でアンジローと出会い、日本布教を決意。
ロンヴェーク	① 1529年、ポスト・アンコール期の都としてチャン・リエチエ王が建都。 ② 1578年ごろ、大友義鎮が「美女等物」を贈る。カンボジア国王(プリア・リエチエ・アンチャ＝サター1世)は返礼として、銅銃、蜂蠟、ゾウとゾウ使い、鏡匠を義鎮に贈る。
アユタヤ	1576年、アユタヤ国王と松浦鎮信が中国人郭六官のジャンク船を介して、贈答品を授受。翌年にも、呉老のジャンク船を介して鎮信が甲を贈る。
ゴア	① 1510年、ポルトガルがアジア貿易の拠点として占領。 ② 1552年、大友義鎮がインド総督に派遣した使者(洗礼名ロウレンソ・ペレイラ)がザビエルとともにゴアに到着、聖パウロ学院で学ぶ。
マニラ	1571年、スペインがアジア貿易の拠点として占領。ガレオン船でメキシコのアカプルコと結ぶ。

※堺、博多等の国内主要交易都市以外の従来見過ごされてきた都市や町、鉾山をピックアップした。

16世紀日本人のアジアにおける活動地域



アジアン大名の活躍

16世紀半ば

15世紀の造船事業は西国大名たちに外交と貿易活動のノウハウを蓄積させた。16世紀に入ると、それらは大名たちによる独自の対アジア貿易として開花した。

監修・文 鹿毛敏夫

◎新居浜工業高等専門学校教授



[ここまでのまとめ]

16 世紀(戦国時代)の**戦国大名**たちは、単に**領土拡張**や**天下統一**をめざして合戦ばかりをしていたのではなかった。

特に、日本列島のなかで中国大陆に近い九州・西日本に領国を有する有力戦国大名は、**中国**や**朝鮮**、**琉球**、**東南アジア**諸国と外交や貿易を行う「**アジア大名**」としての性格をもっていた。

ザビエル来日以降の**キリスト教**の広がりや、ポルトガル・スペインとの**南蛮貿易**など西ヨーロッパ諸国とのつながりも、**16世紀日本人々(大名や豪商)のアジアに向けた活発な対外活動**があったからこそ成されたもの。

[2]

では、

16世紀後半の日本のなかでアジア交流が最も
盛んだった豊後府内の状況を見てみよう。

[飛行機から撮ってみると……](撮影:鹿毛敏夫)

府内(手前左)―別府湾―国東半島―雲の彼方に関門海峡・山口





⇒ 府内は、大分川が別府湾に注ぐ河口西岸に生まれた
水辺の中世都市

[セスナ機に乗って東側から(大分川から)撮ってみた……]

(撮影:鹿毛敏夫)





- ①平安時代終わりの11世紀、この大分川の岸辺に市(いち)が開かれ、
- ②鎌倉時代の12～13世紀に、豊後国守護となった大友氏がその河原市を発展させて大きな町(まち)とし、
- ③室町・戦国時代の15～16世紀に、大友館を中心に45の町から成る都市:府内に発展した。

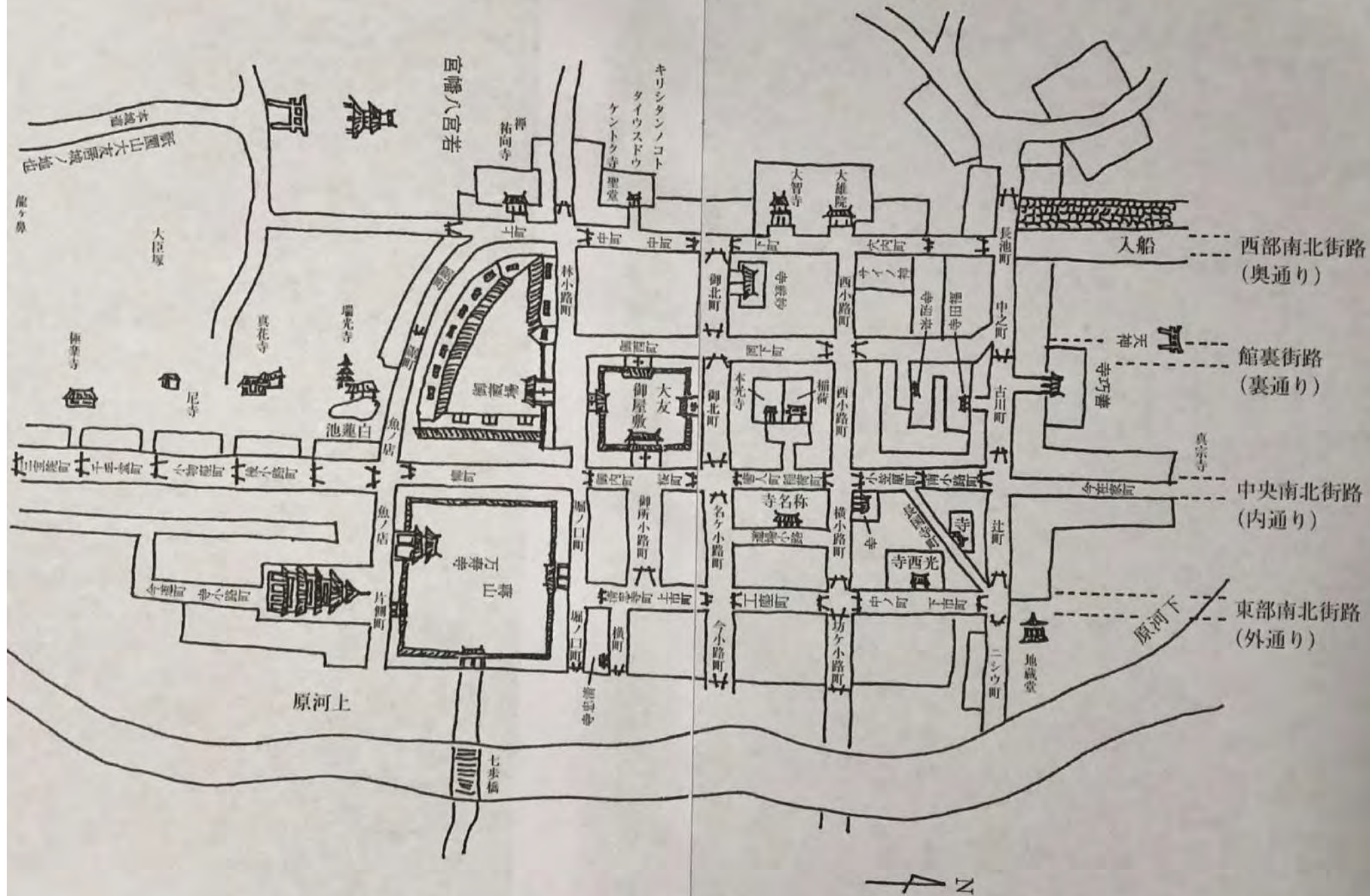


⇒ 皆さんがよく知っている「**府内古図**」(大分市歴史資料館蔵)も、都市府内を**東側から**(大分川から)描いている。

ということは
.....

⇒ この都市：府内のヒミツは、
大分川側から見るとわかるはず！





府内古図 模式図



[ここでのまとめ]
16世紀の府内は、大分川に沿った**3層構造の国際都市**だった！

[3]

では、次の疑問。

16世紀の府内には、**どんな人々**が住んで、
どんな生活をしていたのだろうか？

まず、**考古学**の発掘成果から
わかってきたこと。



モノ(遺物)から見えてくる
16世紀の府内

中国からもたらされた
華南三彩貼花唐草文五耳壺
(勝光寺蔵)



ベトナム産
焼締陶器長胴瓶
(大分県立埋蔵文化財センター蔵)



ベトナム産焼締陶器長胴瓶
中世大友府内町跡

タイ産
焼締陶器四耳壺
(大分市教育委員会蔵)



タイ産焼締陶器四耳壺



ミャンマー産 黒釉陶器三耳壺(大分市教育委員会蔵)



キリシタン(キリスト教徒)の信仰物
(大分県立埋蔵文化財センター蔵)



ヴェロニカのメダイ (大分県立埋蔵文化財センター蔵)

左: 布に映ったイエスの顔、

右: イエスを抱くマリア

次に、

文献史学の調査からは、何がわかってきたのか？

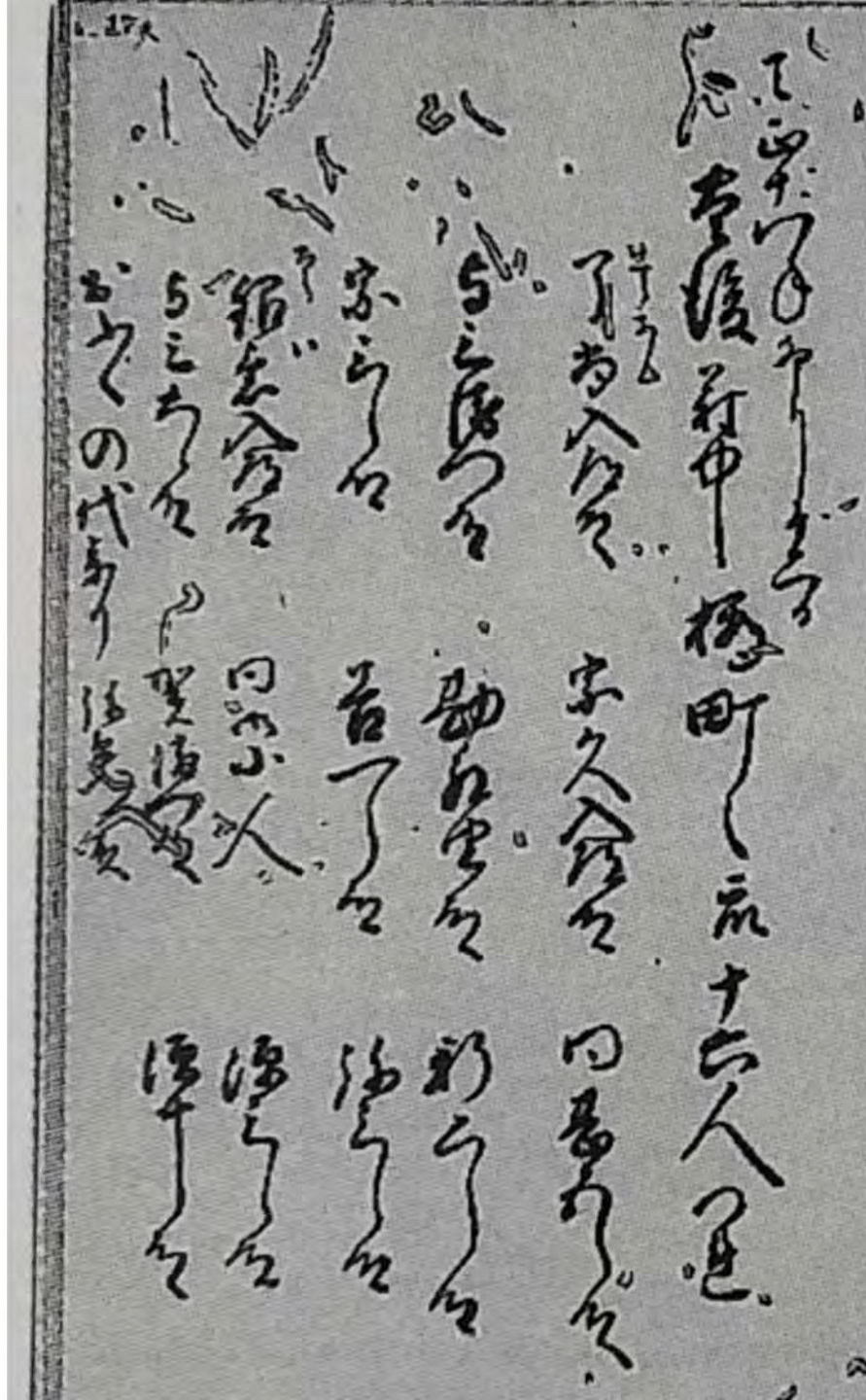


古文書や**古絵図**(当時の人々が書き記した**文字**や**図**の情報)を解読・分析することで見えてくる16世紀の府内

「参宮帳」という古文書史料 (東京大学史料編纂所蔵)

16世紀の九州から**伊勢神宮**
(三重県)に参拝した人々の
名前を記した帳簿

⇒これを解読してみると
.....



天正十八年卯月十二日
豊後符中桜町之衆十六人つれ
了尚入道殿 宗久入道殿
与三衛門殿 勘解由殿
宗三郎殿 善一郎殿
紹意入道殿 同御小人
与三大郎殿 賀衛門殿
おふくの代参り 弥衛門殿

同甚五郎殿
新二郎殿
弥三郎殿
源三郎殿
源十郎殿

天正十八年卯月十二日
豊後符中桜町之衆十六人つれ
了尚入道殿 宗久入道殿
与三衛門殿 勘解由殿
宗三郎殿 善一郎殿
紹意入道殿 同御小人
与三大郎殿 賀衛門殿
おふくの代参り 弥衛門殿

「天正十八年卯月十二日」 = 1590年4月12日。
当時の豊後符中(府内)の桜町に住んでいた人々16人の名前がわかる。

同じ「参宮帳」の別の記録からは、

「天正19(1591)年卯月(4月)7日に、府内の**桜町**と**唐人町**の4人が連れ立って伊勢神宮に参拝した」事実がわかる。

特に「**唐人町**」
＝当時の九州・西日本各地の都市内で、おもに**中国出身の人々**が居住した町

天正十九年卯月七日
豊後符中桜町 同唐人町四人つれ
渡辺彦四郎殿 月山 桜町 吉田弥四郎殿 善周坊

天正十九年卯月七日
豊後符中桜町 同唐人町四人つれ
渡辺彦四郎殿 月山 桜町 吉田弥四郎殿 善周坊

「参宮帳」の3つめの記録からわかること。

天正19(1591)年2月3日に、
府内の

「いなりまちしゅ」= **稻荷町衆6人**
(喜衛門、伝左衛門、吉衛門ら)と、

「唐人まちしゅ」= **唐人町衆2人**
(**ふくまん、かけゆ**)が、

伊勢詣での旅をした。

●府内に住む**日本人と中国人**が
一緒に数ヶ月間の旅行をした！

天正十九年二月三日
豊後符中
喜衛門殿 伝左衛門殿 吉衛門殿 新大郎殿 彦五郎殿 権左衛門殿
又 唐人まちのしゅ 六人
ふくまん 二人
かけゆ殿

天正十九年二月三日
豊後符中
喜衛門殿 伝左衛門殿 吉衛門殿 新大郎殿 彦五郎殿 権左衛門殿
又 唐人まちのしゅ 六人
ふくまん 二人
かけゆ殿

「参宮帳」の4つめの記録
からわかること。

天正17(1589)年3月
13日。

「たう人まち」=「唐人町」
に、やはり「**ゑんはい**」と
「**けんさん**」という名前の
中国人が住んでいた。

このうちの、「**けんさん**」
= **樹岩見山**(**狩野永徳**に
中国画を教えた先生)。

天正十七年三月十三日

豊後符中衆六人 たう人まち

ゑんはい 同与三郎殿 けんさん
みなり町 石井新次郎殿

同新四郎殿

参宮帳
天正十七年三月十三日
たう人まち
ゑんはい 同与三郎殿
けんさん 同新四郎殿
みなり町 石井新次郎殿

では、

府内の**唐人町**に住む「**月山**」「**ふくまん**」「**けんさん(見山)**」
らは、広い**中国**のどこからやってきたのか？



それを推測する**梵鐘**(お寺の鐘)が岡山県にある！

岡山県邑久町の餘慶寺(よけいじ)

中国観音霊場第二番札所
百八観音霊場第三番札所
山陽花の寺第十六番札所

うえてらさん

よけいじ

上寺山 餘慶寺

ご本尊 千手観音菩薩(東向き観音)
宗旨 天台宗

上寺山餘慶寺は天平勝宝元(七四九)年に報恩大師によって開山され以来一二五〇年以上の法統継承が続いている。

餘慶寺は往古には日待山日輪寺と称し、備前四十八ヶ寺のひとつとして栄えた。平安時代には慈覚大師が再興し本覚寺と改めた。その後、近衛天皇の勅願所となり上寺山餘慶寺と改め、国家の安泰と五穀豊穰を祈願した。戦国時代には赤松氏、浦上氏、宇喜多氏の信仰を得て、さらには池田藩主の尊崇と保護を得ておおいに栄えた。

山内には観音堂、薬師堂、阿弥陀堂(納骨堂)、三重塔、地藏堂、鐘楼、八角堂(開山堂)、日吉社、愛宕社などの伽藍が軒を連ねる。本堂は観音堂で、祀られている千手観音菩薩は古くより「東向き観音」と名高く、多くの霊験をあらわしてきた。

かつては七院十三坊といわれた塔頭は、恵亮院、本乗院、吉祥院、定光院、明王院、圓乗院の六院が現存している。

これらの塔頭の多さは中国地方でもあまり他に例を見ない。さらに山内は豊原北島神社とも隣接し、平安時代より発展した神仏習合の姿を遺存している。





この鐘楼の中にある**梵鐘**は、16世紀の府内のもの





↑
この鐘に文字が彫られている……



奉奇進鐘之事^(寄)

大日本国九州豊後国

大分郡府中今小路

惣道場

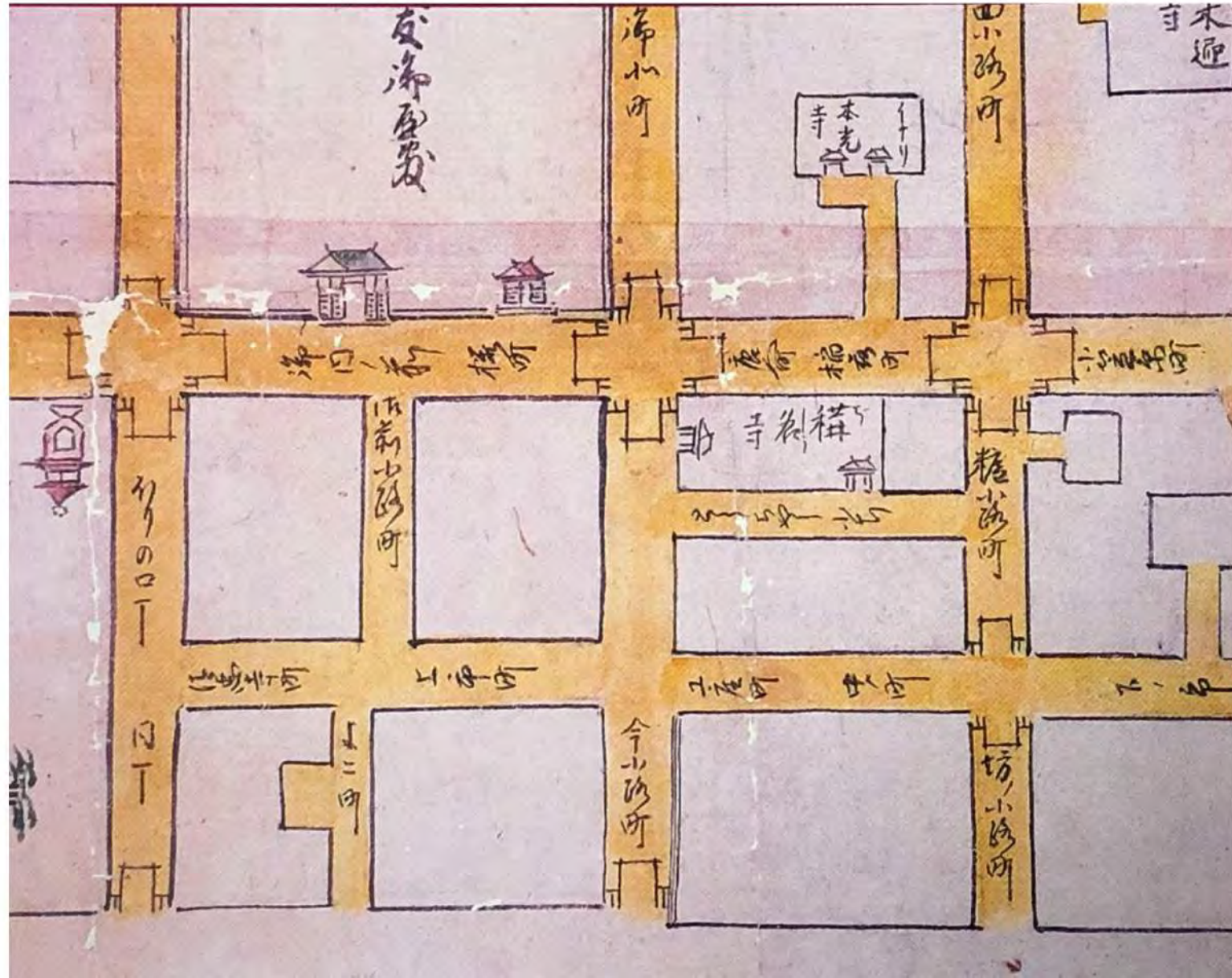
右願主大明

台州府 盧高
平羊県 陽愛有

于時元龜第二梓歳七月十三日

この鐘は、元龜2(1571)年7月13日に、明(みん)国の**台州**出身の**盧高**(ろこう)と**平羊(陽)県(温州)**出身の**陽愛有**が、府内の「**今小路**」にある「**惣道場**」に寄進したもの。

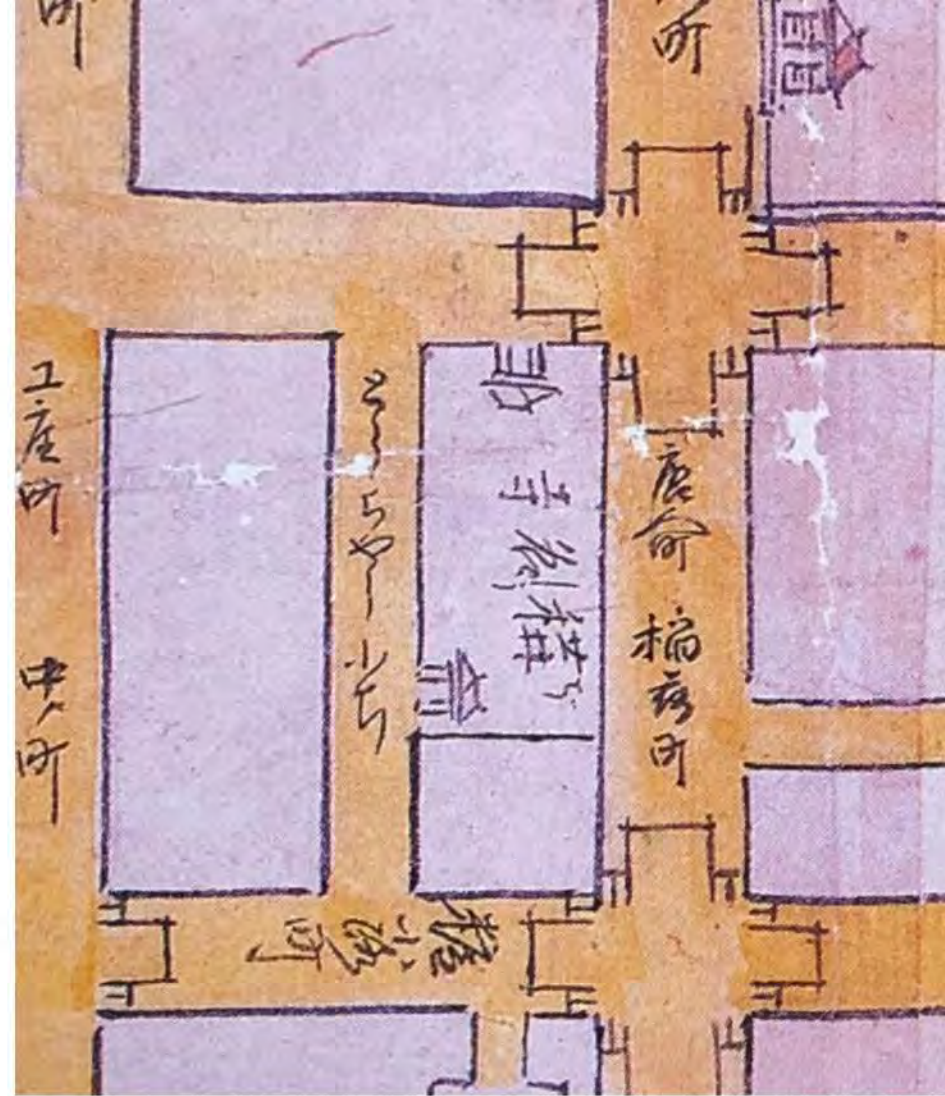
「今小路」と「惣道場」を府内古図(大分市歴史資料館蔵)で
探すと……



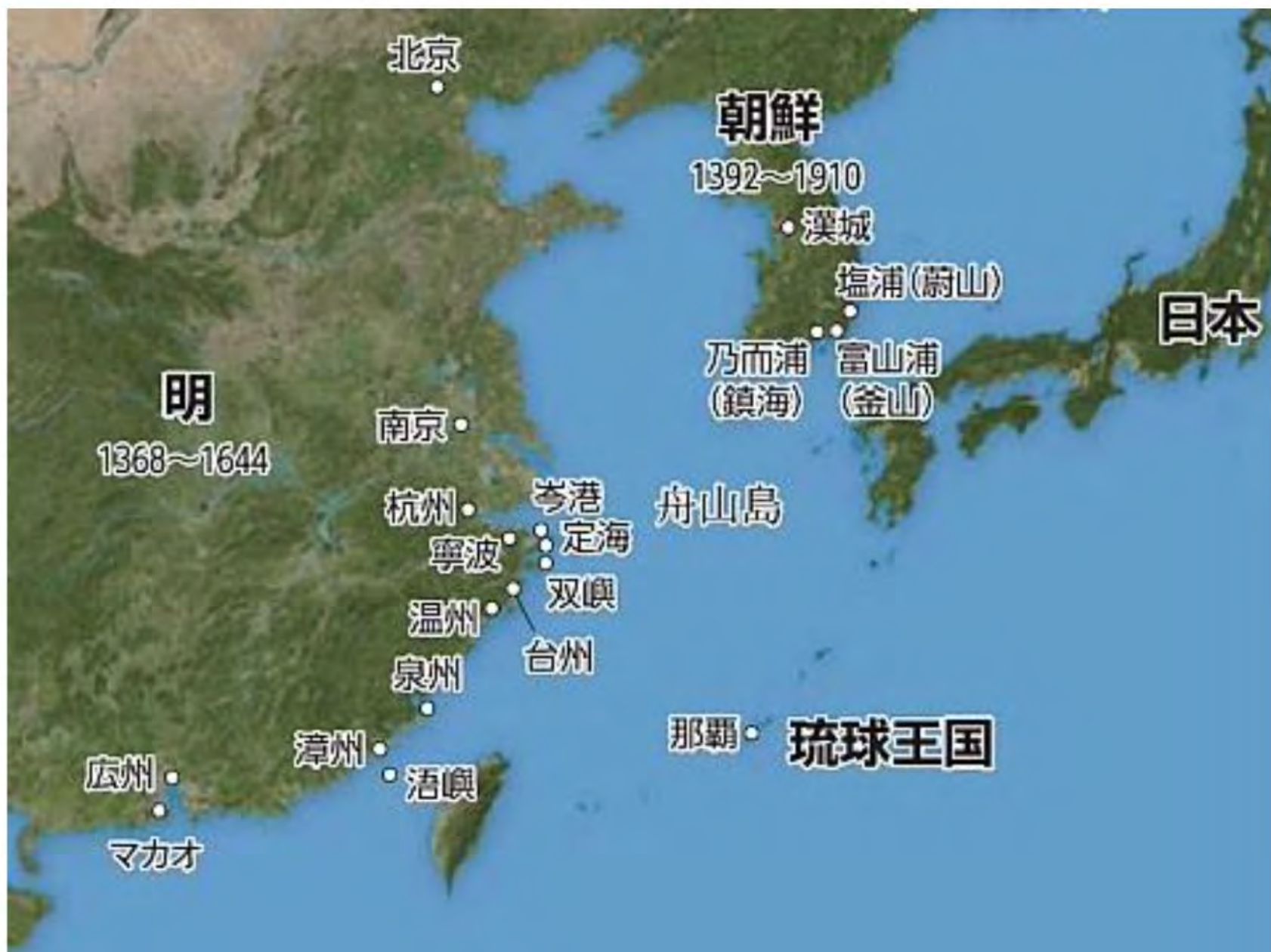
唐人町の東隣に「称名寺」があり、その称名寺の東門前通りを「とうちやう小ち」＝「道場小路」と呼んでいた。

つまり、
盧高と陽愛有が鐘を寄進した「今小路」の「惣道場」とは、称名寺(時宗)のこと。

では、
盧高の出身の台州と陽愛有の出身の平陽県(温州)とは、どこ？

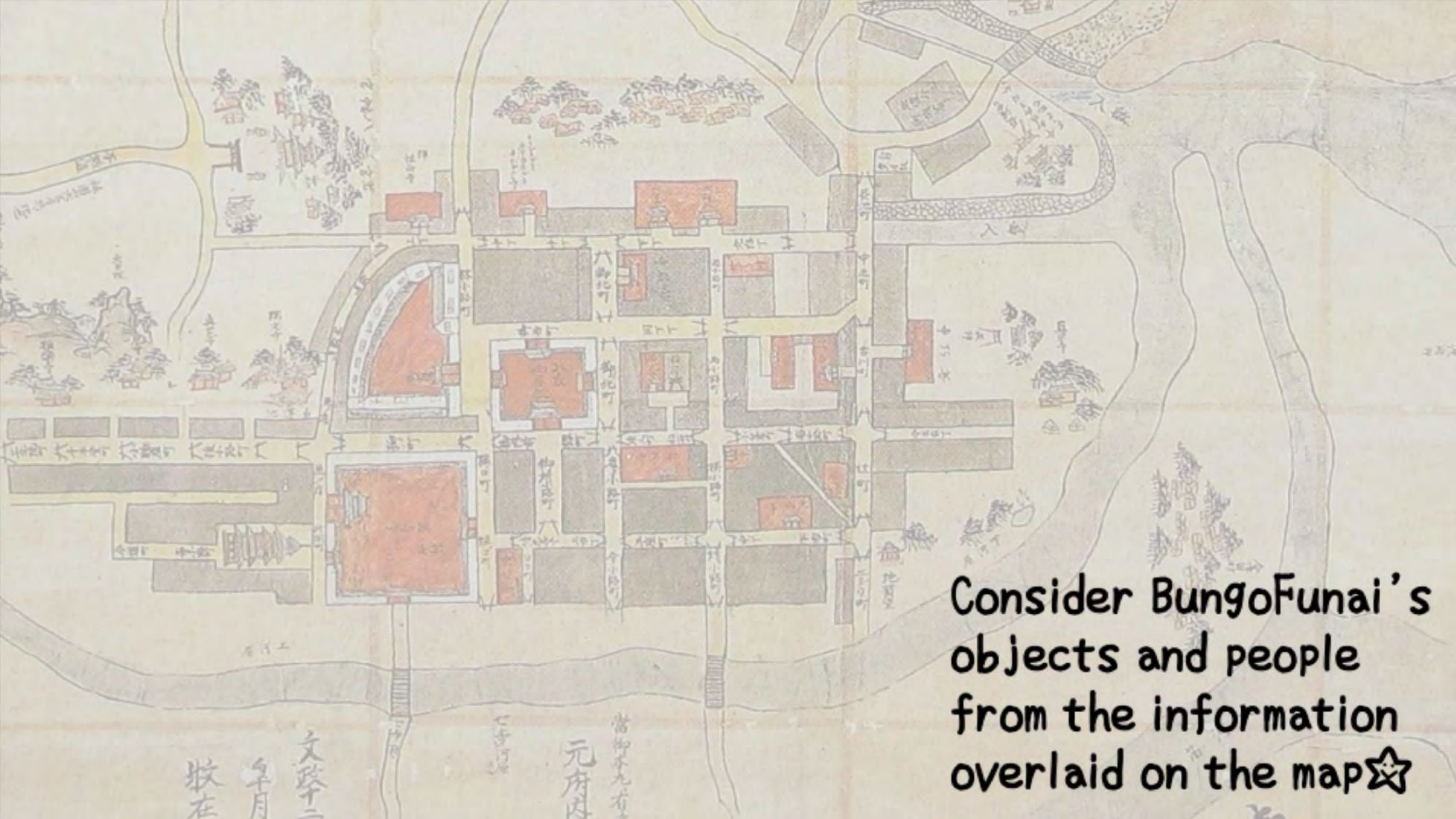


台州と温州の位置 = 中国の浙江省



[まとめ]

- ◎16世紀の**府内**は、**五千軒の町屋敷**が建ち、
数万人が暮らす、**日本トップクラスの都市**だった。
- ◎その都市に暮らした人々は、**中国・朝鮮・東南アジア諸国**からもたらされた**陶器**や、**キリスト教**の**信仰具**などを使う生活をしていた。
- ◎大友館の正門前のメインストリート沿いの桜町や唐人町には、**中国との勘合貿易**や**東南アジア・ヨーロッパとの南蛮貿易**を手がける**大豪商**と、諸外国から渡来してきた**外国人**が居住していた。



Consider BungoFunai's
objects and people
from the information
overlaid on the map☆

Re:Earthを活用した 大分の歴史資料を巡る旅

—地域の魅力を可視化し、発信する、
探究学習成果のアウトプット例—

Designed by, OI Masao.



<https://bdbjjcfbib.reearth.io/>

Dialogue learning section utilising the jigsaw method

あなたが地域の中心だ！
「一般」の人たちと
どう歴史について語りますか？

Designed by, Tokuhara Takuya

学習の振り返り

前の2つのパートを振り返って、
重要だと考えた点をメモしておこう。

このパートの目的

- * 歴史ガイドとしての活動についての検討を通じて、
「歴史」を「実践」することについて学ぶ。

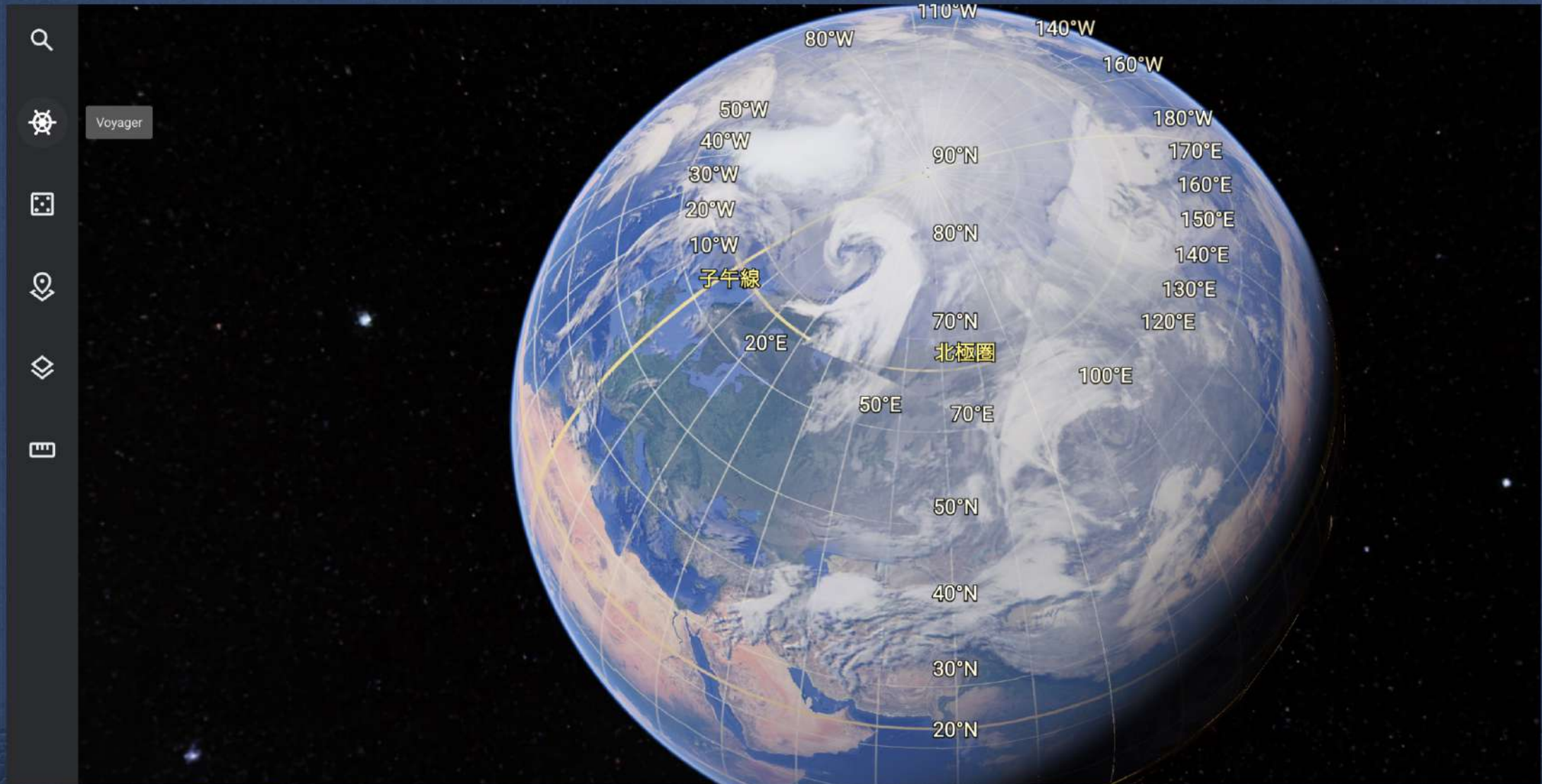
みなさんは、この地域コミュニティが歴史的に「国際的」
であったことを知る専門家！

問い：地域の人たちや、学校の友人、先生たちに、地域の
国際的な歴史を伝えるには、どんな地図が良いだろう？

地図には「目的」と「デザイン」

例えば・・・

Google Earth : Voyager(Voyage=航海)



目的に応じた地図の例

今昔マップ



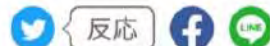
目的に応じた地図の例

ウクライナ侵攻の現実、3Dで伝える 東大院教授がデジタル地図で発信

2022/3/21 18:07

国際 | ヨーロッパ | **ウクライナ侵攻**

THE SANKEI NEWS



- ▶ 個人情報保護法が改正！ 4月より全面施行されます～政府広報[PR]
- ▶ 今すぐ試せる無料体験レッスン！産経オンライン英会話[PR]



ロシア軍によるウクライナ侵攻の被害は、病院や住宅といった一般市民の生活拠点にも及んでいる。ロシア側は「一般市民への攻撃はない」と強調するが、避難者が撮影した写真や衛星画像は、ウクライナで起きている卑劣な現実を突きつける。東京大大学院の渡邊英徳(わたなべ・ひでのり)教授(情報デザイン)らは現地の画像やデータの一部に3D加



Hidenori Watanave, Ph.D.

@hwtntv

Updated: A photogrammetric model of destroyed high-rise apartment building in Solomenstkiy district of [#Kyiv](#), [#Ukraine](#). 3D model generated by [@stim3on](#), from the source video by Yuriy Zozulya.
cesium.com/ion/stories/vi...



Re:Earthの特徴

拡張性＝みんなのアイデアで、

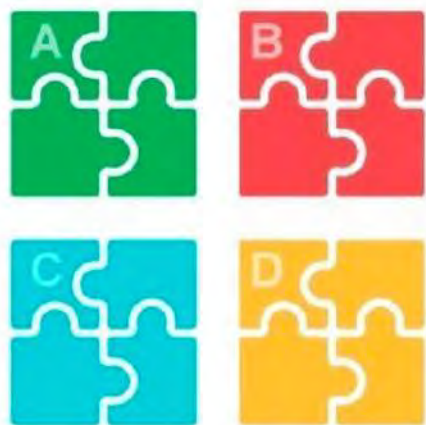
どんどん良くなる！

⇒どんな情報を載せたら、

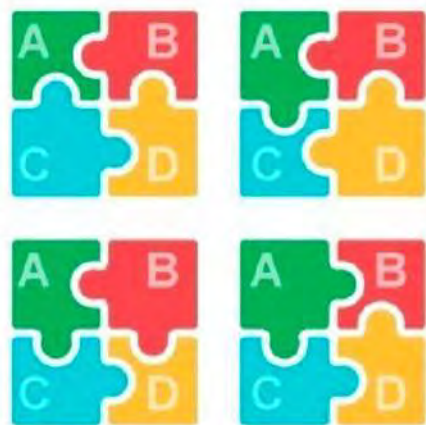
歴史は楽しくなるだろうか？

本日の学習の流れ

対話・理解



説明・解説



フォーム型ジグソー学習

- ①問いに対して個人で考えます
- ②A-Cの資料のうち一つを選んで、その視点で問題について考えます。
- ③フォームに意見を投稿したら、それぞれの資料の他の人の考えを読んで理解を深めよう。
- ④共同作業用のフォームに意見を投稿したら、他のグループの意見も見よう。
- ⑤複数の視点を踏まえて、考えを述べてみよう。

⇒A～Cのうちから、一つ選んでQRを読み込もう

Aチーム



Bチーム



Cチーム



参加される大人の皆様



QRまとめ

Aチーム



Bチーム



Cチーム



Re: Earth



3つの立場を総合して、考え
を送信してみよう

